■「効果の見える治水事業」

香川県 綾川(坂出市)の治水事業

『綾川広域基幹河川改修事業』

あまこ すすむ

香川県土木部河川砂防課長 尼子 進

綾川は、香川県中央部に位置しており、その源を竜王山に発し、綾川町を経て坂出 位置図 市内を流れ、瀬戸内海に注ぐ流路延長約38km、流域面積約138kmの二級河川です。

その流域は、四国有数の工業地帯である番の州工業地帯を擁する坂出市をはじめ とし、綾川町にわたり、社会・経済・文化の基盤をなすとともに、多様な自然環境を有し ています。

本水系においては、昭和初期より河川改修事業として河口から約8km間の築堤工 事などを実施するほか、洪水調節及び灌漑用水補給のため昭和28年に長柄ダム、平 成2年に支川田万川において田万ダムを整備しました。また、昭和41年には府中ダム が完成し、番の州工業地帯へ工業用水を供給しています。

これまでに綾川では、流下能力不足のため、度々台風などの大雨によって氾濫を繰 り返し、浸水被害が発生してきました。特に香川県全域に甚大な浸水被害をもたらせ た平成16年台風23号出水では、綾川沿川の坂出市府中町等において425戸の浸水 被害が発生しました。

このような現状において、概ね70年に1回程度発生する規模の洪水を安全に流下さ せることを目標として、昭和59年度から府中ダム下流の8.7km間を坂出工区として、 河道掘削及び護岸整備を行っており、平成19年度末現在で河口から約5kmまでの間 の整備が完了しています。

坂出工区の特徴として、水辺の動植物の牛息・牛育環境の保全や周辺環境との調 和に配慮しながら人と川とのふれあいの場が確保できるよう。自然石を用いた護岸や 階段工など親水機能も向上させる整備を行っています。特に下流部の1.9km間では、 「ふるさとの川整備事業」(H5モデル河川認定)による整備を実施しています。

今後も環境に配慮しつつ、平成16年台風23号出水時に発生したような浸水被害を 早期に軽減できるよう、綾川の河川改修に取り組み、災害に強い快適な郷土を目指し ます。





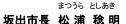


②平成16年10月台風23号による浸水状況:府中小学校



談話室

「安全・安心のまちづくり」





坂出市は、香川県のほぼ中央に位置し、東は史跡と眺望に恵まれた五色台を境に高松市に接し、西は聖通寺山 を隔てて宇多津町に、南は讃岐富士と呼ばれる飯野山を境に丸亀市に接し、北は風光明媚な瀬戸内海国立公園 を臨む面積92.46K㎡、人口約5万6千人の市であります。

古くは塩の町として栄えた本市も時代の変遷と共に、かつての塩田は工業用地、住宅地、農地へと変貌し、沿岸 部では番の州地区の埋立地に火力発電所、石油精製プラント、造船所等の企業が進出しており、さらに平成22年 の操業開始に向け液化天然ガス受け入れ基地の建設が進んでおります。また、中心市街地では予讃線坂出駅付 近連続立体交差事業の完成に併せて平成9年にスタートした坂出駅周辺整備主要プロジェクト事業による地下駐 車場、高架側道、駅前広場、区画整理事業等が平成17年度に完成し、坂出駅を核とした中心市街地の再開発によ り四国の玄関都市としてふさわしい施設が出来上がりました。

また、本年3月には高松自動車道府中湖パーキングエリアに四国で初めてのスマートICが設置され、本格運用に 向けた社会実験が行なわれており、利用者の利便性向上に寄与しています。

ところで、市域東部の平野部を南北に流れる綾川は竜王山に源を発し、途中府中ダムを経由し瀬戸内海に到る 二級河川で普段はゆっくりと流れ、沿川の人々に貴重な親水空間を提供していますが、県下全域に未曽有の災害 をもたらした平成16年の台風23号による異常降雨では様相は一変しました。台風の接近と共に河川水位は急速に 上昇し、上流部での越流により400戸余りの家屋が浸水被害を被りました。また、坂出市全域に亘り家屋の損壊、 土砂崩れ、道路の寸断等が発生し、その被害は非常に甚大なものとなりました。

幸いにも人命被害はなかったものの坂出市ではこれを貴重な教訓として異常気象時に住民が速やかに対応でき るよう浸水想定区域や指定避難場所を記載した洪水ハザードマップを作成しました。また、市民と行政の協働によ り地域の防災力を向上させるため自主防災組織の結成促進に取り組んでいます。一方県におかれては、綾川の流 下能力増強を図る河床整備工事が急ピッチで進められており工事完成後は浸水被害が大幅に軽減されるものと 期待しております。

自然災害は避けて通ることが出来ないものであり、今後も地域住民と共に防災体制の構築に取組み、安全・安心 が実感できる街づくりを実現してまいりたいと考えております。







防災訓練状況